

- 1 決算の認定に係る議会の議決 認定
- 2 山梨県営電気事業

令和3年度 山梨県営電気事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

区 分	予 算 額				合 計	決 算 額	予算額に比 べ決算額の 増 減		備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の支出額に充てる財源	地方公営企業法第26項の規定による繰越額			増	減	
第1款 電気事業収益	5,033,115,000	74,454,000	円	円	5,107,569,000	5,549,899,444	円		
第1項 営業収益	4,613,518,000	0	0	0	4,613,518,000	4,786,607,243	173,089,243	(うち仮梁消費税及び地方消費税 434,757,954円)	
第2項 財務外収益	10,169,000	1,000	0	0	10,170,000	10,893,199	723,199		
第3項 事業外収益	409,398,000	74,453,000	0	0	483,851,000	752,041,268	268,190,268	(" 60,486,988円)	
第4項 特別利益	30,000	0	0	0	30,000	357,734	327,734	(" 32,520円)	

支 出

区 分	予 算 額							翌年度繰越額			不用額	備 考
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流 用 増減額	地方公営企業法第21項による支出額	小 計	地方公営企業法第26項の規定による繰越額	継続費繰越額	合 計			
第1款 電気事業費用	4,684,256,300	122,038,399	円	円	円	円	円	円	円	円	946,883,703	(うち電気消費税 55,656,020円)
第1項 営業費用	4,162,713,000	1,051,000	0	0△ 95,779,302	0	4,806,294,699	395,256,905	65,580,900	4,130,707,199	187,341,602	2,200,000	904,830,311 112,339,001円)
第2項 財務費用	6,388,000	0	0	0	0	6,388,000	28,565,826	0	6,387,735	0	0	25
第3項 事業外費用	510,125,300	120,987,399	0	0	0	726,892,001	366,691,079	0	909,480,909	145,672,000	0	38,430,171
第4項 特別損失	30,000	0	0	0	0	30,000	0	0	30,000	0	0	△ 1,377,044
第5項 予備費	5,000,000	0	0	0	0	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0	5,000,000

(2) 資本的収入及び支出

収入

区分	予算			額			決算額	予算額に比 へ決算額の 増減	備考
	当初予算額	補正予算額	小計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費に係る繰越額に充てる財源充当額	合計			
第1款 資本的収入	47,126,000	0	47,126,000	0	0	0	47,126,000	△ 9,640,937	
第1項 固定資産売却代金	10,000	0	10,000	0	0	0	10,000	358,106	(うち仮受消費税及び地方消費税 30,057円)
第2項 長期貸付金償還金	37,116,000	0	37,116,000	0	0	0	37,116,957	957	
第3項 国庫補助金	10,000,000	0	10,000,000	0	0	0	10,000,000	△ 10,000,000	

支出

区分	予算			額			決算額	翌年度繰越額	不払額	備考
	当初予算額	補正予算額	小計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費に充てる繰越額	合計				
第1款 資本的支出	4,182,792,000	49,968,000	4,232,760,000	258,020,811	1,315,490,250	5,806,271,061	2,269,012,382	784,419,967	317,677,020	(うち原払滞費税及び地方消費税 67,040,658円)
第1項 水力発電所建設費	778,000,000	0	778,000,000	0	1,315,490,250	2,093,490,250	737,628,558	0	0	
第2項 小水力発電所建設費	187,000,000	0	187,000,000	22,000,000	0	209,000,000	17,114,000	185,514,000	6,372,000	(155,800円)
第3項 水力発電設備改良費	1,305,967,000	0	1,305,967,000	190,301,911	0	1,496,268,911	646,536,178	520,023,408	240,609,325	(35,762,658円)
第4項 業務設備改良費	10,485,000	0	10,485,000	0	0	10,485,000	2,384,154	0	8,100,846	(176,604円)
第5項 事業外設備改良費	1,099,395,000	0	1,099,395,000	40,000,000	0	1,139,395,000	70,512,441	78,882,559	1,068,882,559	(6,382,066円)
第6項 水力発電地点等調査費	46,024,000	0	46,024,000	5,718,900	0	51,742,900	38,948,865	0	12,794,035	(3,540,806円)
第7項 企業債償還金	105,921,000	0	105,921,000	0	0	105,921,000	105,920,186	0	814	
第8項 出資金	150,000,000	0	150,000,000	0	0	150,000,000	100,000,000	0	50,000,000	
第9項 繰出資金	500,000,000	0	500,000,000	0	0	500,000,000	500,000,000	0	0	
第10項 長期貸付金	0	49,968,000	49,968,000	0	0	49,968,000	49,968,000	0	0	

(注) 資本の収入額が資本の支出額に不足する額2,231,527,319円は、当年度分消費税及び地方消費税資本の收支調整額137,428,535円、減積立金105,920,186円、建設改良積立金719,421,120円、地域文化振興等積立金664,130,355円及び過年度分損益勘定留保資金604,627,123円で補填した。

令和3年度 山梨県営電気事業損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

1 営業収益			
(1) 電力収益	4,346,946,399		
(2) 雑収益	4,902,890	4,351,849,289	
2 営業費用			
(1) 早川水系水力発電費	1,176,377,178		
(2) 笛吹川水系水力発電費	975,086,634		
(3) 塩川発電所水力発電費	158,150,562		
(4) 総合制御所水力発電費	213,356,649		
(5) 小水力発電費	104,825,428		
(6) 一般管理費	473,296,059	3,101,092,510	
営業利益			1,250,756,779
3 財務収益			
(1) 受取利息	10,893,199	10,893,199	
4 事業外収益			
(1) 電力料	47,084,526		
(2) 長期前受金戻入	65,990,274		
(3) 雑収益	578,413,680		
(4) 消費税及び地方消費税還付金	65,800	691,554,280	
5 財務費用			
(1) 支払利息	6,387,735	6,387,735	

6 事業外費用
 (1) 事業外固定資産管理費 646,380,291
 (2) 雑損 17,411,904
 経常利益 663,792,195
 7 特別利益 32,267,549
 (1) 固定資産売却益 1,283,024,328
 (2) 特別損失 325,214
 8 特別損失 325,214
 (1) 固定資産売却損 325,214
 (2) 過年度損益修正損 56,093
 当年度純利益 1,350,951
 前年度繰越利益剰余金 1,407,044
 その他未処分利益剰余金変動額 △1,081,830
 当年度未処分利益剰余金 1,281,942,498
 89,138,000
 952,354,704
 2,323,435,202

令和3年度 山梨県営電気事業剰余金計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

	資本金	剰余金										資本合計
		受贈財産 評価額	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	減価償立金	利益剰立金	建設改良 積立金	中小水力発電 開発改良積立金	地域文化振興等 積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金 合計	
前年度末残高	28,978,702,392	179,430	8,440	187,870	288,158,216	755,000,000	2,685,092,065	286,976,385	1,422,327,880	2,405,547,675	7,843,102,221	36,821,992,483
前年度処分額	1,328,702,488	0	0	0	0	28,000,000	163,000,000	0	796,707,187	△2,316,409,675	△1,328,702,488	0
議会の議決による処分額	1,328,702,488	0	0	0	0	28,000,000	163,000,000	0	796,707,187	△2,316,409,675	△1,328,702,488	0
利益剰立金の積立	0	0	0	0	0	28,000,000	0	0	0	△28,000,000	0	0
建設改良積立金の積立	0	0	0	0	0	163,000,000	163,000,000	0	0	△163,000,000	0	0
地域文化振興等積立金の積立	0	0	0	0	0	0	0	0	796,707,187	△796,707,187	0	0
未処分利益剰余金からの租入	1,328,702,488	0	0	0	0	0	0	0	0	△1,328,702,488	△1,328,702,488	0

処分後残高	30,307,404,880	179,430	8,440	187,870	288,158,216	783,000,000	2,848,092,065	286,976,385	2,219,035,067	(繰越利益剰余金) 89,138,000	6,514,399,733	36,821,992,483
当年度変動額	0	0	0	0	△ 105,920,186	0	△ 719,421,120	0	△ 627,013,398	2,234,297,202	781,942,498	781,942,498
企業債の償還	0	0	0	0	△ 105,920,186	0	0	0	0	105,920,186	0	0
建設改良積立金の取崩	0	0	0	0	0	0	△ 719,421,120	0	0	719,421,120	0	0
地域文化振興等積立金の取崩	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 164,130,355	164,130,355	0	0
一般会計への繰出	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 500,000,000	0	△ 500,000,000	△ 500,000,000
償還金の受入	0	0	0	0	0	0	0	0	37,116,957	△ 37,116,957	0	0
当年度純利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,281,942,498	1,281,942,498	1,281,942,498
当年度末残高	30,307,404,880	179,430	8,440	187,870	182,238,030	783,000,000	2,128,670,945	286,976,385	1,592,021,669	(当年度末処分利益剰余金) 2,323,435,202	7,296,342,231	37,603,934,981

令和3年度 山梨県営電気事業剰余金処分計算書 (案)

(単位：円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	30,307,404,880	187,870	2,323,435,202
議会の議決による処分額	0	0	△ 1,281,942,498
利益積立金の積立	0	0	△ 21,000,000
建設改良積立金の積立	0	0	△ 260,942,498
地域文化振興等積立金の積立	0	0	△ 1,000,000,000
処分後残高	30,307,404,880	187,870	(繰越利益剰余金) 1,041,492,704

令和3年度 山梨県営電気事業貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位：円)

1 固定資産

資産の部

(1) 電気事業固定資産			
イ	水力発電設備	47,395,009,485	
	減価償却累計額	△ 31,329,615,323	16,065,394,162
ロ	送電設備	40,524,276	
	減価償却累計額	△ 33,388,251	7,136,025
ハ	業務設備	245,357,444	
	減価償却累計額	△ 191,017,352	54,340,092
	電気事業固定資産合計		16,126,870,279
(2) 事業外固定資産			
イ	事業外固定資産	2,523,215,907	
	減価償却累計額	△ 830,579,765	1,692,636,142
	事業外固定資産合計		1,692,636,142
(3) 投資その他の資産			
イ	投資有価証券		1,400,000,000
ロ	出資		3,501,723,683
ハ	長期貸付金		3,081,147,650
ニ	長期前払費用		337,350
ホ	その他の投資		100,000,000
	投資その他の資産合計		8,083,208,683
	固定資産合計		25,902,715,104
2 流動資産			
(1)	現金預金		13,467,857,423
(2)	未収金		998,993,150
(3)	貯蔵品		8,213,692
(4)	短期貸付金		38,135,428
(5)	前払費用		38,405

(6) 前払金	606,790,000	
(7) その他流動資産	19,344	
流動資産合計		15,120,047,442
資産合計		<u>41,022,762,546</u>

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債

87,328,426

企業債合計

87,328,426

(2) リース債務

2,207,550

(3) 引当金

イ 退職給付引当金

817,733,964

ロ 特別修繕引当金

332,501,000

ハ その他引当金

403,125,980

引当金合計

1,553,360,944

(4) その他固定負債

100,000,000

固定負債合計

1,742,896,920

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債

94,909,604

企業債合計

94,909,604

(2) リース債務

2,207,550

(3) 未払金

435,239,535

(4) 未払費用

307,595

(5) 引当金			
イ 賞与引当金	71,848,912		
ロ 修繕引当金	52,419,596		
ハ 特別修繕引当金	150,000,000		
引当金合計		274,268,508	
(6) その他流動負債		15,994,841	
流動負債合計			822,927,633
5 繰延収益			
長期前受金額	1,421,199,413		
収益化累計額	△ 568,196,401		
繰延収益合計			853,003,012
負債合計			3,418,827,565
6 資本金			30,307,404,880
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	179,430		
ロ その他資本剰余金	8,440		
資本剰余金合計			187,870
(2) 利益剰余金			
イ 減債積立金	182,238,030		
ロ 利益積立金	783,000,000		
ハ 建設改良積立金	2,128,670,945		
ニ 中小水力発電開発改良積立金	286,976,385		
ホ 地域文化振興等積立金	1,592,021,669		
資本の部			

〳 当年度未処分利益剰余金
 利益剰余金合計
 剰余金合計
 資本合計
 負債資本合計

2,323,435,202

7,296,342,231

7,296,530,101

37,603,934,981

41,022,762,546

3 山梨県営温泉事業

令和3年度 山梨県営温泉事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出
収入

区分	予算額		地方公営企業法第24条第3項の支出額に充てる財源	法定外額	合計	決算額	予算額に比 へ決算額の 増減	備考
	当初予算額	補正予算額						
第1款 温泉事業収益	131,023,000	52,000	0	0	131,075,000	125,906,548	△ 5,168,452	(うち償還準備金 及び地方債 10,877,511円)
第1項 営業収益	124,911,000	0	0	0	124,911,000	119,802,905	△ 5,108,095	
第2項 営業外収益	6,102,000	52,000	0	0	6,154,000	6,103,643	△ 50,357	
第3項 特別利益	10,000	0	0	0	10,000	0	△ 10,000	

支出

区分	予算額		地方公営	地方公営	翌年度繰越額
	当初予算額	補正予算額			

区分	当初予算額	修正予算額	予備費支出額	流用増減額	小計		企業第26条の2項による繰越額	企業第26条の1項による繰越額	継続費繰越額	合計	決算額	企業第26条の1項による繰越額	企業第26条の2項による繰越額	継続費繰越額	合計	不用額	備考
					企業第24条の1項による支出額	企業第24条の2項による支出額											
第1款 温泉事業費用	136,988,000	52,000	0	0	137,040,000	0	0	0	0	137,040,000	111,238,352	52,000	0	0	52,000	25,749,648	(うち取立滞費税及び地片滞費税 2,965,910円)
第1項 営業費用	128,496,000	52,000	0	0	128,548,000	0	0	0	0	128,548,000	105,636,952	52,000	0	0	52,000	22,859,048	
第2項 営業外費用	7,152,000	0	0	0	7,152,000	0	0	0	0	7,152,000	5,601,400	0	0	0	0	1,550,600	
第3項 特別損失	340,000	0	0	0	340,000	0	0	0	0	340,000	0	0	0	0	0	340,000	
第4項 予備費	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	0	0	0	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

収入

区分	予算額				決算額				不用額	備考
	当初予算額	修正予算額	小計	合計	決算額	繰越額	子へ増減	比		
第1款 資本的収入	10,000	0	10,000	0	10,000	0	△	10,000		
第1項 固定資産売却代金	10,000	0	10,000	0	10,000	0	△	10,000		

支出

区分	予算額				翌年度繰越額				不用額	備考
	当初予算額	修正予算額	流用増減額	小計	決算額	繰越額	合計	比		

令和3年度 山梨県営温泉事業剰余金計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

	資本金	剰余金				資本合計
		利益剰余金	建設改良積立金	地域観光振興積立金	未処分利益剰余金	
前年度末残高	1,234,541,366	51,407,744	131,054,790	4,300,000	△ 19,313,336	1,401,990,564
前年度処分額	0	△ 19,313,336	0	0	19,313,336	0
議会の議決による処分額	0	0	0	0	0	0
利益積立金の取崩	0	△ 19,313,336	0	0	19,313,336	0
処分後残高	1,234,541,366	32,094,408	131,054,790	4,300,000	(繰越利益剰余金) 0	1,401,990,564
当年度変動額	0	0	0	0	12,319,184	12,319,184
当年度純利益	0	0	0	0	12,319,184	12,319,184
当年度末残高	1,234,541,366	32,094,408	131,054,790	4,300,000	(当年度未処分利益剰余金) 12,319,184	1,414,309,748

令和3年度 山梨県営温泉事業剰余金処分計算書 (案)

(単位：円)

	資本金	未処分利益剰余金
当年度末残高	1,234,541,366	12,319,184
議会の議決による処分額	0	△ 12,319,184
利益積立金の積立	0	△ 12,319,184
処分後残高	1,234,541,366	(繰越利益剰余金) 0

令和3年度 山梨県営温泉事業貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位：円)

資産の部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土地	157,227,113	79,472,497	
ロ 建物	△ 54,504,296	102,722,817	
ハ 構築物	1,588,895,031		
ニ 減価償却累計額	△ 835,776,013	753,119,018	
ホ 機械装置	185,494,004		
ヘ 減価償却累計額	△ 130,198,431	55,295,573	
ヘ 備品	4,747,171		
ヘ 減価償却累計額	△ 4,402,157	345,014	
ヘ 建設準備勘定		23,201,841	

有形固定資産合計

1,014,156,760

(2) 無形固定資産

イ 電話加入権		80,500	
---------	--	--------	--

無形固定資産合計

80,500

(3) 投資その他の資産

イ 長期前払費用		23,200	
ロ 破産更生債権等		544,034	
ハ その他投資		200,000	
ニ 貸倒引当金		△ 544,034	
投資その他の資産合計			△ 544,034

223,200

固定資産		負債の部	
2 流動資産			1,014,460,460
(1) 現金	預金		
(2) 未収	倒引当金	14,950,379	479,375,298
(3) 貯蔵	費用	△ 3,500,058	11,450,321
(4) 前払	費用	734,880	9,869
(5) 前払	資産	19,580,000	4,935
(6) その他	流動資産		
流動資産			511,155,303
3 固定負債			1,525,615,763
(1) その他	固定負債	400,000	400,000
4 流動負債			
(1) 未払	金	7,913,313	
(2) 引当	金	2,115,606	
	賞与引当金	10,974,534	
	口修繕引当金		
(3) その他	流動負債	13,090,140	
流動負債		23,352	
5 繰延			21,026,805
長期前			
受金			123,393,703

収益化累計額
繰延収益合計
負債合計

△ 33,514,493

89,879,210

111,306,015

資本の部

1,234,541,366

6 資本金
7 剰余金

(1) 利益剰余金

イ 利益積立金

32,094,408

ロ 建設改良積立金

131,054,790

ハ 地域観光振興積立金

4,300,000

ニ 当年度未処分利益剰余金

12,319,184

179,768,382

179,768,382

1,414,309,748

1,525,615,763

利益剰余金合計
剰余金合計
負債資本合計

4 山梨県営地域振興事業

令和3年度 山梨県営地域振興事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収入

予	算	額	予算額に比

区 分	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の支出額に充てる財源	地方公営企業法第3項の支出額に充てる財源	合計	決算額	△決算額の増減	備考
第1款 地域振興事業収益	140,463,000	△ 67,938,000	円	円	72,525,000	円	円	
第1項 営業収益	140,400,000	△ 67,938,000	0	0	72,462,000	円	692,336	(うち仮受消費税 5,367,585円)
第2項 営業外収益	53,000	0	0	0	53,000	755,003	702,003	(" 22,518円)
第3項 特別利益	10,000	0	0	0	10,000	0	△ 10,000	

支 出

区 分	予 算				額		決算額	地方公営企業法第26条の2項に繰上る額	地方公営企業法第2項の繰上る額	合計	決算額	地方公営企業法第26条の2項に繰上る額	不用額	備考
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	地方公営企業法第3項の支出額	小計								
第1款 地域振興事業費用	140,255,000	27,000	円	円	円	円	円	円	円	140,282,000	円	円	10,185,946	(うち仮払消費税 4,321,354円)
第1項 営業費用	131,453,000	26,000	0	0	140,282,000	0	140,282,000	0	130,096,054	131,479,000	129,824,512	0	1,654,488	
第2項 営業外費用	7,792,000	1,000	0	0	7,793,000	0	7,793,000	0	271,542	7,793,000	271,542	0	7,521,458	(" 198円)
第3項 特別損失	10,000	0	0	0	10,000	0	10,000	0	0	10,000	0	0	10,000	
第4項 予備費	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	1,000,000	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000	

(注) 営業運転資金にあてるため、電気事業会計から長期借入金49,968,000円を借り入れた。

(2) 資本的収入及び支出

区 分	予 算				額		決算額	予算額に比べ決算額の増減	備考
	当初予算額	補正予算額	小計	計	地方公営企業法第26条の繰越額に充てる財源	継続費繰越額に充てる財源			
区 分	当	補	小	計	地方公営企業法第26条の繰越額に充てる財源	継続費繰越額に充てる財源	合計	予算額に比べ決算額の増減	備考

	円	円	円	円	円	円	円	円	円
第1款 資本的收入	10,000	0	0	10,000	0	0	10,000	△	10,000
第1項 固定資産売却代金	10,000			10,000			10,000	△	10,000

支 出

区 分	予 算			額		翌年度繰越額			不用額	備 考	
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	流 用 増 減 額	小 計	地方公営 企業法第 26条の規 定による 繰越額	合計	決算額	地方公営 企業法第 26条の規 定による 繰越額			合計
第1款 資本的支出	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
第1項 地籍簿籍調査費	54,617,000	0	0	54,617,000	0	0	53,490,646	0	0	1,126,354	
第2項 他会計借入金償還金	16,500,000	0	0	16,500,000	0	0	16,373,689	0	0	126,311	(うち県債借費後 及の地方消費税 1,488,517円)
第3項 予備費	37,117,000	0	0	37,117,000	0	0	37,116,957	0	0	43	
	1,000,000	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000	

(注) 資本的收入額が資本的支出額に不足する額53,490,646円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,488,517円、過年度分損益勘定留保資金52,002,129円で補填した。

令和3年度 山梨県営地域振興事業損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

1 営業収益	67,094,748	67,094,748
(1) 丘の公園事業収益		
2 営業費用	125,503,158	125,503,158
(1) 丘の公園維持管理費		

58,408,410

營業損失						
3 營業外収益						
(1) 雑収	285,419					
(2) 消費税及び地方消費税還付金	27,100		312,519			
4 営業外費用						
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	262,747					
(2) 雑支	8,597		271,344			
經常損失					41,175	
当年度純損失					58,367,235	
前年度繰越欠損金					58,367,235	
当年度未処理欠損金					3,626,356,671	
					<u>3,684,723,906</u>	

令和3年度 山梨県営地域振興事業剰余金計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

	資本金	剰余金		利益剰余金		資本合計
		寄附金	資本剰余金合計	未処分利益剰余金	利益剰余金合計	
前年度末残高	3,247,071,683	7,455,531	7,455,531	△ 3,626,356,671	△ 3,626,356,671	△ 371,829,457
前年度処分額	0	0	0	0	0	0
処分後残高	3,247,071,683	7,455,531	7,455,531	(繰越欠損金) △ 3,626,356,671	△ 3,626,356,671	△ 371,829,457
当年度変動額	0	0	0	△ 58,367,235	△ 58,367,235	△ 58,367,235
当年度純損失	0	0	0	△ 58,367,235	△ 58,367,235	△ 58,367,235
当年度末残高	3,247,071,683	7,455,531	7,455,531	(当年度未処理欠損金) △ 3,684,723,906	△ 3,684,723,906	△ 430,196,692

令和3年度 山梨県営地域振興事業欠損金処理計算書

(単位：円)

	資本金	資本剰余金	未処理欠損金
当年度末残高	3,247,071,683	7,455,531	△ 3,684,723,906
議会の議決による処分額	0	0	0
処分後残高	3,247,071,683	7,455,531	△ (繰越欠損金) 3,684,723,906

令和3年度 山梨県営地域振興事業貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位：円)

資産の部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土地		5,790,934	
ロ 建物			
減価償却累計額	△ 1,795,620,222	540,992,765	
ハ 構築物	3,967,615,701		
減価償却累計額	△ 2,453,392,582	1,514,223,119	
ニ 機械装置	815,536,959		
減価償却累計額	△ 728,408,331	87,128,628	
ホ 備品	101,711,859		
減価償却累計額	△ 88,436,993	13,274,866	
有形固定資産合計			2,161,410,312
(2) 無形固定資産			

イ	電話加入権	2,249,600		
ロ	その他無形固定資産	67,620		
	無形固定資産合計		2,317,220	
	固定資産合計			2,163,727,532
2	流動資産			
(1)	現金預金		78,182,233	
(2)	未収金		427,000	
(3)	貯蔵品		1,146,210	
	流動資産合計			79,755,443
	資産合計			<u>2,243,482,975</u>

負債の部

3	固定負債			
(1)	他会計借入金			
イ	その他の長期借入金	2,600,147,650		
	他会計借入金合計		2,600,147,650	
	固定負債合計			2,600,147,650
4	流動負債			
(1)	他会計借入金			
イ	その他の長期借入金	38,135,428		
	他会計借入金合計		38,135,428	
(2)	未払金		25,520,990	
(3)	引当金			
イ	修繕引当金	5,045,599		
	引当金合計		5,045,599	
	流動負債合計			68,702,017

5 繰延収益			
長期前受金額		8,138,550	
繰延収益合計		△ 3,308,550	
負債合計			4,830,000
			<u>2,673,679,667</u>

資本の部

6 資本金			
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			3,247,071,683

1 寄附金 7,455,531

7,455,531

(2) 利益剰余金

1 当年度未処理欠損金 3,684,723,906

△ 3,684,723,906

利益剰余金合計			△ 3,677,268,375
剰余金合計			△ 430,196,692
負債資本合計			<u>2,243,482,975</u>

5 山梨県流域下水道事業

令和3年度 山梨県流域下水道事業決算報告書

(1) 収益的收入及び支出
収入

予 算 額

予 算 額

区 分	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の規程による財源に充てる額	地方公営企業法第3条第3項の規程に定める額	合計	決算額	予算額に比 べ決算額 の減	備 考
第1款 下水道事業収益	9,250,658,000	34,411,000	0	0	9,285,069,000	8,723,837,919	△ 561,231,081	(うち仮委消費税及び地方消費税281,274,574円)
第1項 営業収益	3,726,846,000	0	0	0	3,726,846,000	3,094,020,639	△ 632,825,361	
第2項 営業外収益	5,523,808,000	34,411,000	0	0	5,558,219,000	5,629,817,280	71,598,280	
第3項 特別利益	4,000	0	0	0	4,000	0	△ 4,000	

支 出

区 分	算 額				地方公営企業法第26条の繰上越額	地方公営企業法第2条第2項の繰上越額	合計	決算額	地方公営企業法第26条の繰上越額	地方公営企業法第2条第2項の繰上越額	不用額	備 考
	当初予算額	補正予算額	子備費支出額	流用増減額								
第1款 下水道事業費用	9,249,621,000	△ 23,416,000	0	0	0	9,226,205,000	8,684,284,118	0	0	541,920,882	(うち仮払消費税及び地方消費税280,218,772円)	予算額を超過した支出額 資産減耗費 107,418,276円
第1項 営業費用	9,103,860,000	△ 18,709,000	0	0	0	9,085,151,000	8,556,076,943	0	0	529,074,057		
第2項 営業外費用	144,760,000	△ 4,707,000	0	0	0	140,053,000	128,207,175	0	0	11,845,825	(" 15,454円)	
第3項 特別損失	1,000	0	0	0	0	1,000	0	0	0	1,000		
第4項 予備費	1,000,000	0	0	0	0	1,000,000	0	0	0	1,000,000		

(2) 資本的收入及び支出
収 入

子 算 額	子 算 額

区分	当初予算額	補正予算額	小計	地方公営企業法第26条の規定に係る繰越額に充当する財源	継続費に充当する繰越額	決算額	決算額	予算額に比して決算額の増減	備考
第1款 資本的収入	1,686,423,000	456,635,000	2,143,058,000	678,394,129	0	2,821,452,129	2,054,168,889	△ 767,283,240	翌年度繰越額に係る財源充当額 28,000,000円
第1項 企業債	350,000,000	119,000,000	469,000,000	190,000,000	0	659,000,000	431,000,000	△ 228,000,000	翌年度繰越額に係る財源充当額 28,000,000円
第2項 国庫補助金	859,343,000	230,374,000	1,089,717,000	471,787,311	0	1,561,504,311	1,034,233,636	△ 527,270,675	翌年度繰越額に係る財源充当額 96,915,000円
第3項 市町村負担金	408,041,000	113,129,000	521,170,000	0	0	521,170,000	521,170,000	0	(うち)仮払消費税 47,379,077円) 翌年度繰越額に係る財源充当額 268,836,112円
第4項 他会計補助金	69,039,000	△ 5,868,000	63,171,000	16,606,818	0	79,777,818	67,765,253	△ 12,012,565	翌年度繰越額に係る財源充当額 832,500円

支出

区分	算額			地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費に充当する繰越額	合計	決算額	翌年度繰越額		不用額	備考	
	当初予算額	補正予算額	流用増減額					小計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額			継続費に充当する繰越額
第1款 資本的支出	2,937,818,000	460,220,000	0	3,398,038,000	1,203,170,952	4,601,208,952	3,437,395,205	1,161,866,852	1,161,866,852	0	1,946,895	

第1項	建設改良費	1,686,423,000	458,055,000	0	2,144,478,000	1,203,170,952	0	3,347,648,952	2,185,318,000	1,161,866,852	0	1,161,866,852	464,100	(うち仮払消費税及び地方消費税 191,789,598円)
第2項	企業債償還金	1,251,395,000	2,165,000	0	1,253,560,000	0	0	1,253,560,000	1,252,077,205	0	0	0	1,482,795	

(注) 資本的収入額(翌年度～繰り越される支出の財源に充当する額)394,583,612円を除き、前年度から繰り越された支出の財源に充当する額524,776,823円を加えた額2,184,362,100円が資本的支出額に不足する額1,253,033,105円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額25,978,844円、過年度分損益勘定留保資金66,671,027円及び当年度分損益勘定留保資金1,160,383,234円で補填した。

令和3年度 山梨県流域下水道事業損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

1 営業収益														
(1)	負担金		2,799,148,181											
(2)	その他負担金		13,597,884						2,812,746,065					
2 営業費用														
(1)	業務費		2,811,394,148											
(2)	総係費		92,192,636											
(3)	減価償却費		5,264,853,111											
(4)	資産減耗費		107,418,276						8,275,858,171					
3 営業外収益														
(1)	他会計負担金		1,506,627,000											
(2)	他会計補助金		101,972,000											

5,463,112,106

(3) 長期前受金戻入	3,981,120,002						
(4) 雑収益	25,859						
4 営業外費用							
(1) 支払利息及び諸費	128,037,175						
(2) 雑支出	3,727,094			131,764,269		5,457,980,592	
経常損失						5,131,514	
当年度純損失						5,131,514	
前年度繰越欠損金						390,729,124	
その他未処分利益剰余金						0	
当年度未処理欠損金						395,860,638	

令和3年度 山梨県流域下水道事業剰余金計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

	資本金	剰余金					利益剰余金		資本合計
		国庫補助金	市町村負担金	他会計補助金	受贈財産評価額	資本剰余金合計	未処分利益剰余金	利益剰余金合計	
前年度末残高	20,107,406,115	4,869,081,014	2,455,226,315	74,993	73,695,984	7,398,078,306	△ 390,729,124	△ 390,729,124	27,114,755,297
前年度処分額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
処分後残高	20,107,406,115	4,869,081,014	2,455,226,315	74,993	73,695,984	7,398,078,306	△ 390,729,124	△ 390,729,124	27,114,755,297
当年度変動額	0	0	0	0	0	0	△ 5,131,514	△ 5,131,514	△ 5,131,514
当年度純損失	0	0	0	0	0	0	△ 5,131,514	△ 5,131,514	△ 5,131,514

当年度末残高	20,107,406,115	4,869,081,014	2,455,226,315	74,993	73,695,984	7,398,078,306	(当年度未処理欠損金) △ 395,860,638	△ 395,860,638	27,109,623,783
--------	----------------	---------------	---------------	--------	------------	---------------	------------------------------	---------------	----------------

令和3年度 山梨県流域下水道事業欠損金処理計算書(案)

(単位:円)

	資本金	資本剰余金	未処理欠損金
当年度末残高	20,107,406,115	7,398,078,306	△ 395,860,638
議会の議決による処分額	△ 420,332,324	0	0
欠損金への補填	△ 420,332,324	0	0
処分後残高	19,687,073,791	7,398,078,306	(繰越欠損金) △ 395,860,638

(注) 資本金の処分額420,332,324円は令和2年度に前受金の未計上により生じた欠損金を令和4年度の過年度損益修正益として計上するものである。

令和3年度 山梨県流域下水道事業貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位:円)

資産の部

1 固定資産	
(1) 有形固定資産	
イ 土地	9,853,229,648
ロ 建物	5,918,821,109
減価償却累計額	△ 413,706,686
	5,505,114,423

ハ	構築物	96,508,554,401		
	減価償却累計額	<u>△ 6,214,642,822</u>	90,293,911,579	
ニ	機械及び装置	13,019,551,493		
	減価償却累計額	<u>△ 3,784,128,718</u>	9,235,422,775	
ホ	車両及び運搬具	1,568,180		
	減価償却累計額	<u>△ 705,680</u>	862,500	
ヘ	工具、器具及び備品	13,481,430		
	減価償却累計額	<u>△ 7,541,960</u>	5,939,470	
	有形固定資産合計			114,894,480,395
(2)	無形固定資産			
	イ 電話加入権		<u>4,134,000</u>	
	無形固定資産合計			<u>4,134,000</u>
	固定資産合計			<u>114,898,614,395</u>
2	流動資産			
(1)	現金預金			1,287,351,630
(2)	未収金			313,383,977
(3)	貯蔵品			31,671,639
(4)	前払金			<u>154,580,000</u>
	流動資産合計			<u>1,786,987,246</u>
	資産合計			<u><u>116,685,601,641</u></u>
3	固定負債			
(1)	企業債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		<u>10,972,589,094</u>	
	企業債合計			<u>10,972,589,094</u>
	負債の部			

(2)	その他固定負債		1,400,000	
	固定負債合計			10,973,989,094
4	流動負債			
(1)	企業債			
	建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,223,863,588		
	企業債合計		1,223,863,588	
(2)	未払金		374,706,199	
(3)	前受金		633,659,000	
(4)	引当金			
	賞与引当金	8,909,000		
	引当金合計		8,909,000	
	流動負債合計			2,241,137,787
5	繰延収益金		84,063,774,841	
	長期前受金額		△7,702,923,864	
	繰延収益合計			76,360,850,977
	負債合計			89,575,977,858
6	資本金			20,107,406,115
7	剰余金			
(1)	資本金	4,869,081,014		
	国庫補助金	2,455,226,315		
	市町村負担金	74,993		
	他会計補助金			
	受贈財産評価額	73,695,984		
	資本剰余金合計			7,398,078,306
	資本の部			

(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処理欠損金		395,860,638	
利益剰余金合計			△ 395,860,638
剰余金合計			7,002,217,668
資本合計			27,109,623,783
負債資本合計			116,685,601,641

6 監査委員の意見

山梨県知事 長崎 幸太郎 殿

山梨県監査委員 中 和 樹
 山梨県監査委員 小 泉 久 司
 山梨県監査委員 山 梨 橋 亨
 山梨県監査委員 山 梨 岸 富美男

令和4年8月8日

令和3年度山梨県公営企業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき審査に付された令和3年度山梨県公営企業会計決算について審査した結果、次のとおり意見書を提出します。

I 審査の対象

- 令和3年度 山梨県営電気事業会計
- 令和3年度 山梨県営温泉事業会計
- 令和3年度 山梨県営地域振興事業会計
- 令和3年度 山梨県流域下水道事業会計

II 審査の期間

令和4年7月14日から令和4年8月8日まで

III 審査の手続

令和3年度山梨県公営企業会計の決算審査に当たっては、各事業が地方公営企業法その他関係法令に基づいて、常に経済性を発揮し、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されているか、決算書類が経営成績及び財政状態を適正に表示しているか等について検証するため、決算報告書、附属書類、諸帳簿、証拠書類等を精査照合するとともに、関係職員から概況を聴取し、併せて定例監査及び例月現金出納検査の結果も踏まえて審査を行った。

IV 審査の結果及び意見並びに決算の概要
各事業会計の審査の結果及び意見並びに決算の概要は、それぞれの会計において述べるのとおりである。

(1) 令和3年度山梨県営電気事業会計

審査の結果及び意見

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令等に準拠して作成され、事業の経営成績及び財政状態並びにキャッシュフローの状態を適正に表示している。また、事業の経営については、事業目的に沿って概ね良好に運営されているものと認められる。

1 経営状況について

令和3年度の経営状況は、12億8,194万2,498円の純利益を上げている。前年度に比べ2億9,423万5,311円の増となり、総収支比率は134.0%、経常収支比率も134.0%であり、健全な経営に努めていると認められる。

当年度純利益が前年度より増加した要因は、降水量の減少により供給電力量が減少したため電力料収入が減少したものの、広瀬発電所改修事業等の終了による営業費用の減少などにより、営業利益が3億2,005万8,985円増加したことによるものである。

今後の経営においても、発電施設・設備を良好に維持していくため、老朽化が進む既存水力発電所の改良や修繕を計画的に進め、効率的な経営に一層努められたい。

2 財政状態について

令和3年度の財政状態は、自己資本構成比率が93.7%、固定資産対長期資本比率が64.4%、流動比率が183.7%と、いずれの比率も健全な水準を確保している。

今後とも経営の健全性を維持するため、積立金の計画的な積立てと適切な管理を行うなど、必要な資本の確保と財政基盤の強化を図り、安定的な事業経営に努められたい。

3 キャッシュ・フローの状況について

令和3年度のキャッシュ・フローの状況は、業務活動により確保した資金の増加が15億8,304万2,011円であり、投資活動として有形固定資産の取得や一般会計への繰出金等により20億7,741万1,548円を支出、また、財務活動として企業債の償還等に1億8,127万7,736円を支出しており、令和3年度中の資金額は6億2,497万7,273円の減少となっている。

キャッシュ・フローは減少したが、令和3年度末で130億円を超える現金等残高を保有しており、資金繰りは引き続き安定した状況にあるとともに、企業債残高の債務償還能力についても特に問題ない。

今後も、財政を安定的に維持し、多額の支出となる発電施設の建設や改良など、必要な資金の確保に計画的に取り組むとともに、キャッシュ・フローの適正な管理に努められたい。

4 経営課題について

国の電力システム改革により電力の小売完全自由化などが実施されたことや、激変する世界情勢の影響等により電力をはじめとするエネルギー環境が大きく変化している。このような中で、企業局においては、今後も電力市場や他の公営電気事業者の動向等を注視しながら、現在の電力受給基本契約満了後の令和6年度以降における事業展開について検討をさらに進めるとともに、社会情勢の変化に即応できる経営感覚を備えた人材の育成に努めるなど、引き続き経営の健全性の維持が図られるよう対応されたい。

また、電気事業を着実に推進する中で、得られた利益を県民福祉の向上や本県経済の発展に還元できるよう、一般会計への繰り出しの更なる拡充についても検討されたい。

更に、2050年までのカーボンニュートラル実現に向け、令和4年2月に県と民間企業が共同で設立した「株式会社やまなしハイドロジェンカンパニー」を中心に推進するP2G (Power to Gas) システムや、従来から取り組んでいる小水力発電など、恵まれた自然環境を活用した本県のグリーンエネルギーの普及促進に一層努められたい。

なお、地域振興事業に対する貸付金については、同事業の経営改善を図るため、平成30年度に施設の建設改良に係る貸付金32億2,207万1,683円を出資金に振り替えたが、貸付金の残高は26億3,828万3,078円と依然として多額であることに加え、同事業は令和元年度から3年連続の赤字となり、会計基準に照らし注視すべき状況となっている。加えて、新型コロナウイルス感染症は依然として収束の見通しが立っておらず、まん延状況によっては一定期間の休業を余儀なくされるなど経営の悪化につながる同事業において、収益回復の先行きは予断を許さない状況にある。

こうした現状を踏まえると、今後の地域振興事業の財政状態、経営成績及びキャッシュフローの状況に重大な影響が生じる可能性があり、電気事業からの出資金の保全及び貸付金の回収へのリスクも高まることから、なお一層の適切、確実な債権管理等に努められたい。

(2) 令和3年度山梨県営温泉事業会計

審査の結果及び意見

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令等に準拠して作成され、事業の経営成績及び財政状態並びにキャッシュフローの状態を適正に表示している。また、事業の経営については、事業目的に沿って運営されているものと認められる。

1 経営状況について

令和3年度の経営状況は、住民向け旅行割引「県民割」などの影響もあり、旅館・ホテル等の給湯量が持ち直し、温泉供給収益が2,532万8,009円増加し1億8,777万8,090円となった。

一方、温泉管理費は修繕費、給与手当等の減により1,399万2,082円減少したことから、経常収益は1億1,502万9,378円と前年度に比べ1,699万3,552円増加し、経常収支比率は112.0%と前年度に比べ28.5ポイント上昇している。総収支比率についても112.0%と前年度に比べ28.4ポイント上昇している。

また、当年度純利益についても、損益がマイナスであった前年度に比べ3,163万2,520円増加し、1,231万9,184円となり、健全性は保たれている。今後の経営については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により給湯の大半を占める石和温泉宿泊客数が減少している中、給湯量・温泉供給収益の低下や、将来的な設備更新を見据え、新たな給湯先の確保や経営の効率化に引き続き努められたい。

2 財政状態について

令和3年度の財政状態は、自己資本構成比率が98.6%、固定資産対長期資本比率が67.4%、流動比率が2,431.0%と、いずれの比率も健全な水準を確保している。

令和3年度末の温泉供給料金未収金は、固定資産の破産更生債権等54万4,034円に、流動資産の未収金1,493万7,243円を加えた1,548万1,277円であり、このうち納期限を過ぎたものは621万1,854円である。

これまでも未収金の解消に向けて、鋭意努力しているところではあるが、公営企業としての経営の健全性や公平負担の観点から、滞納者の状況を個々に把握し適切に対応していくなど未収金の回収に向け、なお一層努力されたい。

3 キャッシュ・フローの状況について

令和3年度のキャッシュ・フローの状況は、業務活動により確保した資金が2,989万7,882円増加し、投資活動として有形固定資産の取得などにより2,308万8,604円減少したことから、令和3年度の資金額は680万9,278円の増加となっている。財務活動によるキャッシュ・フローについては増減がなかった。

令和3年度末の現金等残高については、前年度に比べ1.4%増加の4億7,937万5,298円となり、営業収益に対する比率は440.1%と事業規模に対して十分に確保されている。

温泉事業の経営は、現状、借入金はないが、今後も配湯管の敷設普工事等が引き続き見込まれることから、経営状況等についての確な現状把握を行い、キャッシュ・フローの適正な管理に一層努められたい。

4 経営課題について

令和3年度の総給湯量は61万9,209立方メートルと前年度に比べ116.3%増加している。また、温泉供給契約口数は468口と前年度より8口減少したものの、温泉供給収益は、前年度に比べ2,532万8,009円の増加となっている。

今後の温泉事業の経営に当たっては、温泉の湧出量や給湯実績を適切に把握し、給湯見込等を考慮した上で、様々な方策を講じながら新規契約者の獲得をはじめ温泉の有効活用に取り組むなど、温泉供給収益の安定的な確保に努められたい。

温泉事業は、これまで、地元自治体や関係団体等と連携して、温泉資源の保護と地域振興に努めてきたが、今後も、県民福祉の増進に寄与するという企業局の役割を踏まえ、温泉事業のあり方を展望するとともに、収益の減少や施設の更新のための投資をはじめ、ワーケーションや二拠点居住といった社会情勢の変化、新たなニーズに十分留意した経営計画を検討されたい。

(3) 令和3年度山梨県営地域振興事業会計

審査の結果及び意見

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令等に準拠して作成され、事業の経営成績及び財政状態並びにキャッシュフローの状態を適正に表示している。また、事業の経営については、事業目的に沿って運営されているものと認められる。

1 利用者数について

丘の公園については、平成16年4月から指定管理者制度を導入し、令和元年度から新たに選定された指定管理者が、施設の管理・運営を行っている。

令和3年度の利用者数は、前年度に比べ、ゴルフ事業部が7,908人増加(23.3%)し、レジャー事業部が1万7,950人増加(26.6%)、レストラン事業部が1,927人減少(△6.2%)した。その結果、施設全体の利用者数は2万3,931人増加(18.1%)し、15万6,503人であった。

施設全体の利用者数は、指定管理者制度導入2年目の平成17年度をピークに漸減傾向にあったが、指定管理者と連携して集客対策に取り組み、平成27年度から平成29年度まで増加してきた。しかしながら、平成30年度以降、前年度比で減少に転じ、さらに新型コロナウイルス感染症拡大の影響長期化により、令和元年度及び令和2年度とも、利用者数は大幅に減少した。令和3年度は、営業休止に伴う影響等があったものの、キャンペーン・グランピング人気によるオートキャンプ場の利用者数増加等により、施設全体としても増加に転じた。

あり方検討委員会からの提言等を踏まえ、従前から集客策の実施に取り組んできたが、コロナ禍で変化した利用者ニーズ等を踏まえ、現状の把握と今後の対応策について、令和3年度に外部委託により提出された収益最大化に関する調査検討報告書を十分に検証し、指定管理者と協力しながら、施設の効率的、効果的な活用に積極的に取り組み、施設全体の利用者数の増加に努められたい。

2 経営状況について

令和3年度の経営状況は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえて指定管理者からの施設利用料を減額したものの、前年度より営業休止期間が

縮小されたため、施設利用料が前年度に比へ5,171万3,889円増加したことが主な要因となり、経常損失額が前年度に比へ5,395万4,49円減少し、経常損失として5,836万7,235円を計上した。その結果、経常収支比率は53.6%となり、前年度に比へ41.5ポイント上昇した。

また、特別利益及び特別損失がともに計上されなかったことから、当年度純損失は経常損失と同額の5,836万7,235円となり、純損失額は前年度に比へ5,407万3,715円減少した。その結果、総収支比率は53.6%となり、前年度に比へ41.5ポイント上昇した。

経常収益のほぼ全額は指定管理者からの施設利用料であるが、平成29年度から令和元年度までの決算では、一部納入金が納期限に収納されず未収金となり、令和2年度及び令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響長期化等により納入金を減額した。指定管理者の経営状況及び資金繰りについて、引き続き十分な調査と把握に取り組み、施設利用料の安定的な確保に努められたい。

また、収益的収支については平成26年度に黒字化が図られ、その後継続して黒字を計上していたが、令和元年度以降3期連続で赤字決算となった。過去から累積した当年度未処理欠損金は、前年度に比へ5,836万7,235円増加し、36億8,472万3,906円と多額であることから、収益的収支の黒字化に向けて、経営状況の改善に一層努められたい。

3 財政状態について

令和3年度の財政状態は、自己資本構成比率が△19.0%で前年度に比へ2.8ポイント低下、固定資産対長期資本比率が99.5%で前年度に比へ0.3ポイント上昇、流動比率が116.1%で前年度に比へ24.0ポイント低下している。

資本合計は△4億3,019万6,692円となり、債務超過額が前年度に比へ当年度純損失額の5,836万7,235円増加している。

また、償還計画に基づき3,711万6,957円を償還した一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、指定管理者納入金を減額したことに伴う資金不足補填のため、電気事業会計から4,996万8,000円の借入を行った。その結果、令和3年度末の長期借入金残高は26億3,828万3,078円となり、前年度に比へ増加しており、財政状態は一層厳しい状況にあるため、償還計画の見直しなど今後の改善策について検討されたい。

4 キャッシュ・フローの状況について

令和3年度のキャッシュ・フローの状況は、業務活動によるキャッシュ・フローが2,392万8,984円の増加となり、投資活動として1,488万5,172円を支出し、財務活動として1,285万1,043円を収入したことから、令和3年度中の資金額は前年度末残高に比へ2,189万4,855円増加し、7,818万2,233円となっている。

業務活動によるキャッシュ・フロー2,392万8,984円は主として、当年度純損失5,836万7,235円、減価償却費5,200万5,087円及び未払金の増加額2,217万5,670円を計上したことによるものであり、投資活動によるキャッシュ・フロー△1,488万5,172円は、有形固定資産の取得による支出を計上したことによるものである。また、財務活動によるキャッシュ・フロー1,285万1,043円は、他会計借入金による収入として4,996万8,000円及び他会計借入金の返済による支出として3,711万6,957円を計上したことによるものである。

施設・設備の維持・整備に必要な資金の確保については、依然として厳しい状況にあるが、今後も必要な資金が確実に手当てできるよう、キャッシュ・フローの適正な管理に努められたい。

5 経営課題について

地域振興事業については、指定管理者制度を導入後、現金収支の改善が図られ、平成26年度以降は収益的収支が黒字に転じるなど一定の成果を上げてきた。

しかしながら、令和元年度は台風19号などの自然災害等により、現金収支の黒字は確保したものの収益的収支は赤字となり、令和2年度は新型コロナウイルス感染症のまん延により経営は一層厳しい状況に陥り、大幅な純損失を計上した。

また、令和3年度においても新型コロナウイルスの感染拡大により、引き続き純損失を計上するに至った。

こうした中、企業局においては令和3年度に収益最大化に向けた調査検討事業を実施したところであり、この調査結果はもとより、ウイズコロナ、アフターコロナにおける人の行動変容、新たなニーズなど社会情勢の変化を総合的に勘案し、丘の公園の収益拡大に向けた改革に積極的に取り組むとともに、令和3年度末で26億3千万円余にのぼる借

入金の償還を着実に進めるなど、経営の健全化に一層努められたい。

また、丘の公園は県民福祉の増進に寄与するという企業局本来の役割と併せ、八ヶ岳南麓地域の集客拠点として地域の活性化に貢献する役割も負っていることから、県観光文化部をはじめ地元自治体などとの連携を強化し、効果的に取り組みを推進するよう留意されたい。

なお、令和5年度から指定管理者が更新されることから、令和3年度に実施した調査事業の結果等を踏まえ、丘の公園の健全な管理・運営に寄与できる指定管理者の選定に向けて真摯に取り組まされたい。

(4) 令和3年度山梨県流域下水道事業会計

審査の結果及び意見

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令等に準拠して作成され、事業の経営成績及び財政状態並びにキャッシュフローの状態を適正に表示している。また、事業の経営については、事業目的に沿って運営されているものと認められる。

1 事業概要について

流域下水道事業は、令和2年度から地方公営企業法の財務規定等の適用（一部適用）により公営企業会計へ移行し、富士北麓流域下水道、岐阜流域下水道、釜無川流域下水道及び桂川流域下水道の事業を運営するとともに、これらの施設の維持管理業務を行っている。

令和3年度の流域下水道全体の処理水量は、年間3,941万1,540立方メートル、1日平均10万7,977立方メートルの下水を処理しており、前年度に比べ年間で94万1,192立方メートル、1日平均で2,578立方メートル減少している。

2 経営状況について

令和3年度の経営状況は、経常収益84億249万926円に対して経常費用が84億762万2,440円となり、513万1,514円の経常損失を計上した。また、特別利益及び特別損失ともに計上なく、当年度純損失についても同額となり、総収支比率及び経常収支比率はともに99.99%で、前年度と比べ改善している。この要因は、公営企業会計移行初年度の令和2年度決算において、移行当初に繰り越すべき市町村負担金を前受金に計上せず、令和2年度中に収益化できなかったことから、3億9,072万9,124円の純損失を計上したことによるものである。

営業収益の主なもの、市町村からの流域下水道事業に係る維持管理負担金であり、年間の収支は均衡することが見込まれるが、今後、経年劣化した設備の修繕費用など維持管理費が増加が予想されることから、計画的な修繕を進め効率的な経営に努められたい。

3 財政状態について

令和3年度の財政状態は、経営指標で見ると、自己資本構成比率が88.7%、固定資産対長期資本比率が100.4%、流動比率が79.7%であり、前年度と比べほぼ同水準で推移している。

有形固定資産の帳簿価額は、令和3年度決算時の資産合計金額の98.5%を占めており、資産の管理と有効活用が重要である。引き続き、流入下水量の増加に応じて計画的に処理場施設等の整備を進めるとともに、投資効率の向上を図るため下水道普及率の上昇に努められたい。

4 キャッシュ・フローの状況について

令和3年度のキャッシュ・フローの状況は、業務活動により確保した資金の増加が14億7,573万1,010円であり、投資活動として有形固定資産の取得等に1億8,197万1,916円を支

出、また、財務活動として企業債の償還等に8億2,107万7,205円を支出しており、令和3年度中の資金額は4億7,268万1,889円の増加となっている。

一方、企業債残高の債務償還年数は8.26年であり、資金繰り及び債務償還能力について特に問題ないが、今後長期的な視点での分析が重要である。

5 経営課題について

流域下水道事業は、地方公営企業法の一部適用により、令和2年度から公営企業会計へ移行した。

地方公営企業法の財務規定適用のメリットは、経営成績や財政状態等の正確な把握及び経営の透明性の確保が可能になるとともに、維持管理費用や投資費用を踏まえた市町村の負担金について、適正かつ計画的に設定できることである。山梨県の下水道普及率は全国平均を下回っている状況であり、今後普及率の目標値達成に向けて取り組み、流域下水道事業を将来にわたって持続可能なものとするため、上記メリットを活かし、効率的かつ安定的な事業運営を図るとともに、適切な財源の確保に努められたい。

下水道事業は、生活や産業活動により汚れた水をきれいに処理してから自然に返す重要な役割を担っており、本県の豊かな水環境を守り、次世代に引き継いでいくため、安定的な事業の実施が求められている。今後も市町村と連携して下水道の整備を進めるとともに、増加が見込まれる維持管理費については、民間活力を活用するなど、その抑制に努められたい。

また、事業着手から46年が経過し、老朽化に伴う施設の改築、更新の必要性が増加している。そのため、既存施設の計画的な改築、更新を実施するとともに、災害時においても下水道機能を維持できるよう、施設の耐震化・耐水化などについても着実に取り組みたい。

なお、公営企業会計移行初年度である令和2年度決算で発生した未処理欠損金について、原因の究明及び対応策の検討を行い、今年度中での会計処理に向けて適切に対応されたい。